

# iPad のタッチペンの選び方

休校の延長に伴い、「iPad の画面上で書き込んで提出する」形式の課題が続きます。指での書き込みも可能ですが、より快適に作業するために活用できるタッチペンの選び方をご紹介しますので、参考にしてください。

## ▽選ぶときのポイント [ペン先が4種類あります]

ペン先には大きく分けて4種類あります。④の樹脂タイプが最も、課題への書き込みがしやすいですが、同様に値段も高くなります。

※1 書きやすさには個人差があります。

※2 商品によっても異なりますので、商品説明等よくお読みの上ご購入ください。

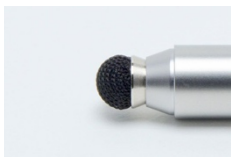
書きづらい  
安価

### ①シリコンゴムタイプ



導電性のシリコンゴムタイプ。比較的安価ですが、先が太いため、文字や数字を書くのにはあまり適していません。素材の特性上、摩耗しやすいので、買い換えが必要になる場合もあります。製品によっては少し筆圧をかけないと認識されないものもあります。

### ②繊維タイプ



導電性の繊維を網状に編んだタイプ。ペン先の滑りは良いが、先が太いため、文字や数字を書くのには適しているとは言えません。(画面を拡大しながらであれば、書き込むことは可能です)

### ③透明ディスクタイプ



透明のディスクが、ペン先に取り付けたタイプ。ディスク部分は駆動するため、画面に当たる面積を確保しながら、透明なのでペン先の文字やイラストもよく見えます。使い方には少しコツは必要ですが、ピンポイントでの操作も可能で、慣れてくると使いやすいです。

### ④樹脂タイプ



導電性の樹脂を使ったタイプです。ペン先が細いものが多く、ボールペンのような書き心地で使用できる。先が硬く液晶を傷つけやすいので、保護シートを貼ることをおすすめします。(Apple 純正品の Apple Pencil もこちらのタイプです)

書きやすい  
高価

## ▽購入にあたって



- ・高価ですが、Apple 純正品の Apple Pencil 第1世代を購入していただくことが確実です。↑
- ・「③透明ディスクタイプ」は、ダイソー等の100円ショップにも売っているものもあります。
- ・「④樹脂タイプ」の中には、Apple Pencil に類似した商品 [¥3,000 程度(学校調べ)] もありますが、中には Bluetooth 接続(ペアリング)が必要になるタイプもあるので、必ず「iPad 第7世代」に対応しているかどうかをご確認ください。